

私の好きな言葉に、努力は足し算。協力は掛け算。というものがあります。その意味は、努力はどんどん増えていって+（プラス）になる。けれども協力は、一人でも協力しない人がいると0（ゼロ）になる。ということで、このことは人は一人では生きられるものでなく、仲間が必要だということを示しています。

人生100年時代ときくと、ながいながい一本の道を想像しますが、けれどもよく見るとそれは、「変化」という、ひとつひとつの点の集まりだと気づきます。

子どもが生まれ、巣立っていく、移り変わる家族のカタチも、そのひとつ。老後の新しいスタートも、そのひとつ。予想のできない変化も、そのひとつ。どんな変化にも負けないたくましさ、どんな変化も受け止めるしなやかさをもつ、これからの人生をサポートしていくことが市議会の仕事ではないでしょうか。

未来になが待っていてもたのしく、ちから強く、思いのままに。

あなたらしい道を描き、歩んでいただきたい。

いろんなことがあった令和4年の年末に、来たる令和5年のことに思いを馳せ、このように思っていました。

**令和5年、私は市民、ひとりひとりの、人生と向き合い、ひとつひとつ、共につないでいきたいと思えます。**

市民のみなさまのご指導よろしく申し上げます。

小野寺 健

## ◎令和3年度決算審査等特別委員会 全体会 おのでら健質疑

以下、質問・答弁の概要です。少し長くなりますがお読みいただければ幸いです

●2050年カーボンニュートラルの実現を目指した対策など、地球温暖化対策も仙台市独自のモデルとして、モデルを提案していくような気概を持って進めていただきたい。

仙台はもと脱スバイクタイヤ運動、先駆的な分別リサイクル、ワケルくんに見られる啓発にも力を入れてきた環境先進都市です。折しも本年4月からプラスチック資源循環促進法が施行され、環境行政も注目されている中で、環境局長にはポストコロナに向けて攻めの姿勢で先駆的な事業を生み出し、取り組んでいただきたいと思っています。

（小野寺）

▲現在、カーボンニュートラルの実現とプラスチック資源循環の確立が世界的にも喫緊の環境課題であると認識をしています。プラスチック資源循環につきましては、来年4月から全国に先駆けて製品プラスチックの一括回収に取り組むこととしておりますので、まずはこれをしっかりと軌道に乗せてまいりたい。

一方、カーボンニュートラルにつきましては、これまで本市独自の条例を制定し、積極的に施策の充実を図ってきましたが、国が2030年度の温室効果ガスの削減目標を大きく引き上げたところでございまして、本市としてもこれを上回る削減を目指していく必要があるものと考えています。ゼロカーボンシティの実現に向け、市民事業者の皆様と連携しながら、一段も二段もギアを上げ各般の取り組みを進めてまいりたい。

（細井環境局長）

●決算年度、財源確保について目を向けてみますと、元来、歳入、市税収入は景気変動の影響を受けやすく不安定な構造ですが、コロナ対策の財源確保のため基金を大幅に切り崩して、残高は一時大きく減少しました。

感染拡大を抑え込むためにコロナ対策に全庁挙げて取り組むとともに、仙台市の持続的な成長を実現するための取組を同時に展開していかなければならない中で、当局は難しいかじ取りを迫られたと認識しています。

将来の予測が困難な時代を迎える中、仙台に住んでいてよかった、住んでみたいと選ばれる都市にしていこうためには、時代の変化に柔軟かつ確実に対応し、これまで以上に前例踏襲や横並びの意識を打破し、失敗を恐れずに新たな施策に積極果敢に挑戦していく組織へと変革する必要があると思えます。

私は、決算分科会において、令和3年度決算を締めてみて、仙台市の財政はどのような状況にあるのか、これから10年の歳入歳出についてはどのように予測しているのか、事業のスクラップ・アンド・ビルドについてお答えを伺いました。この点、どのような認識をお考えになるのか。

（小野寺）

▲本市の財政状況につきましては、決算年度においても、前年度並みの実質収支を維持したものの、依然として厳しい状況にあると認識しています。今後10年の歳入歳出を見ますと、3600億円程度の財源不足が生じるという見込みで、厳しいかじ取りが求められているものと受け止めております。しかし、そうした中であっても、今後の都市間競争を見据えて、人々から選ばれる都市となるために、未来に向けた各般の重要施策を着実に前に進めていくこと、このことが重要です。そのためには、スクラップ・アンド・ビルドの視点も持ちながら、事業の不断の点検を行い持続可能な財政基盤の確立を図っていきます。

（郡市長）

●今回の議会でも報告いただきましたけれども、来年度から2032年度まで財源不足の額はほぼ右肩上がり推移しておりまして、最終的に3628億円足りない見通しを示されています。

また、この試算には、最近の世界情勢を受けた物価高や円安の影響や、整備の管理予定が不透明な都心部の再開発を促すプロジェクトや、音楽ホールが入る複合施設については含まれていないとのことで、負担額はさらに膨らむと伺っております。

2025年度には300億円を超え、2032年度451億円に拡大する。財政局は、歳入はコロナ後において、市税収入は緩やかに回復するが、普通交付税は減少、主要一般財源はほぼ横ばいで推移していくと見ていますけれども、果たしてそうなるでしょうか。

歳出は、高齢化の進展や社会保障費など義務的経費、国民健康保険事業などへの繰出金が増え、公共施設の長寿命化対策や更新、大規模事業の実施で投資的経費も増加していきます。

財源について詳しく見れば、地方自治体が自由に用途を定められる一般財源はその9割以上が過去の政策決定のランニングコストである経常的経費に充てられています。経常的経費とは、施設運営や様々な行政サービスの実施経費などで、新たにやめるという判断をしない限り継続的に必要な経費のことで、このうち社会保障費等の義務的経費は増大していきます。

しかしながら、一方で多様化する市民ニーズや新たな社会課題に対応するため、新たな施策事業展開が常に求められていて、実現に必要な政策的経費に充てる財源が不足することになります。そこで、既存事業を見直し、予算を削って生み出した財源を新規事業に充てるスクラップ・アンド・ビルドを行うわけなんですけれども、既存事業の見直しがなければ、新しい施策に投入する財源が生まれてきません。

分科会でも財政局に求めてまいりました。

私はこの概念を、財政局だけではなく市当局全体で認識共有され、果敢に大幅な既存事業の見直しを進めていくことが重要だと考えるものですが、担当副市長の答弁をいただきたい。

（小野寺）

▲新規事業の実施に向けては、財源を捻出するということが極めて重要なことであり、これは時代の変化、あるいは時代の要請に即して、より効果的な事業展開を図る上でも、既存事業における不断の見直しや予算の厳選重点化が重要であると考えています。財源確保のためには、こうした取組を全庁的に推し進めていくことが重要として、新年度の予算編成過程を通じて、それぞれ各局に対しましてそれぞれの所管事業を見直すなどにより一層の取り組みを進めてまいりたい。

（藤本副市長）

●当局には、細かいところではございますけれども、歳入面で、使用料、手数料は適切に徴収されているだろうか、過度な減免措置を行っていないだろうか、歳出面で、補助金や負担金、委託費などの既得権益化はしていないだろうか、施策は効率的、効果的に実施されているだろうかということ等を常に頭に置いていただいて、職員が全体の日常、日々の仕事の中で考えながら業務に取り組んでいただきたい。

このことは財政局にとって困難な課題でありますけれども、課題解決のためにぜひ逃げずに事に当たっていただきたいと思えます。

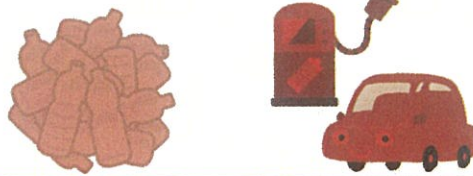
事務事業の精査、厳選、業務の効率化、公営企業等への繰出金及び外郭団体等への負担金の抑制、市特別会計においても、事務事業の効率化や経費の見直しを求め、聖域を設けず受益者負担の適正化の議論を進めること、拠出金の抑制を図ること、いろんな意味で具体的に踏み出していく時期にあると考えます。財政局長、御当局の責任ある答弁をいただきたい。

（小野寺）

▲現在の厳しい財政状況を踏まえ、様々な指摘をいただきましたが、歳入歳出ともに、額の大小を問わず、あらゆる手段の改善策というものを講じることが必要であると認識をしています。

市役所経営プランにおける進捗状況の確認や、予算編成のプロセスなどを通じて、全庁的な意識共有を図りまして、コストの削減などによる歳出削減や、主体的な歳入確保に向けた具体的な取り組みを庁内に働きかけてまいりたい。

（高野財政局長）





# おむすびシート

～ 市民のみなさまとおのでら健をむすぶおむすびシート ～

市民のみなさまの声を!! つなぎます

お気軽にFAXください



FAX 022-702-3967

●生活している上でおこまりのことありませんか。(具体的に書いていただくと助かります)

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

●市議会について伺います ※いずれかに○をつけてください

- |   |        |  |        |
|---|--------|--|--------|
| 1. 市議会に関心がありますか                                   | YES NO | 8. 市議会だよりを読んでいますか  | YES NO |
| 2. 現在の市議会をどの様に評価しますか<br>評価する 評価しない わからない          |        | 9. 市議会だより以外で議会に関する<br>情報収集をしていますか  | YES NO |
| 3. 市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか                         | YES NO | 10. 市議会ではどのような改革が必要だと思いますか<br>・議会の審査機能の向上 ・議員定数の削減<br>・報酬・政務活動費の見直し ・市民が傍聴しやすい議会<br>・市民の声が支映できる懇親会や意向調査を行う<br>・市議会ホームページの充実など ・情報発信力の強化<br>・新聞広告や議員だよりの発行回数をふやす ・その他 |        |
| 4. あなたの意見や市民の声が市議会に<br>反映されていると思いますか              | YES NO | 11. 市議会に何を期待しますか。自由にお書きください<br>[ ]   |        |
| 5. 市政等について意見や要望がある場合に<br>請願や陳情を市議会に提出できることをしていますか | YES NO |  |        |
| 6. 市議会の会議を傍聴したことがありますか                            | YES NO |  |        |
| 7. 市議会を夜間や休日に開催すれば傍聴しますか                          | YES NO |  |        |

お名前

TEL  
FAX  
MAIL

ご住所

●セブンイレブン様  
●マツモトキヨシ様  
●七十七銀行様  
北環状線  
●みおくり邸宅加茂様

●ラーメン店

至  
八  
乙  
女

仙台市議会 市民フォーラム仙台  
小野寺 健 事務所

【連絡先】

〒981-3122  
仙台市泉区加茂1-47-2-202  
FAX 022-702-3967  
E-mail: onoken0329@yahoo.co.jp



オフィス加茂 [2F]